

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

ギガソーラー グリーンプロジェクトボンド信託（福島） 信託受益権および信託 ABL

【据置】

信託受益権格付	BBB-
ABL格付	BBB-

■ 格付事由

本件は、台湾に籍を置く Giga Solar Materials Corp.およびその子会社である永和電力株式会社（ギガソーラーグループ）が福島県石川郡浅川町にて手掛けていたメガソーラー事業のリファイナンスをプロジェクトファイナンスの手法を用いて行ったものである。

1. 本プロジェクトの現状

2023年5月の格付レビュー（前回レビュー）以降、主に以下のような事象が発生している。

前回レビュー時と同じく、ごく一部のパネルについてバスバー部の焼損が確認され、定期的に交換が行われている。パネルメーカーが製造・販売を停止しており、メーカーによる製品保証は履行されていないものの、当該パネルが全体に占める比率は0.13%でありプロジェクト収支への影響は現状殆どない。

一定期間継続していた日射計の不具合は解消され、22年10月以降は日射量を測定できている。

2. 発電量実績の分析

本プロジェクトの23年4月から24年3月の発電量実績（直近12ヵ月平均）は、計画値（P50）を上回っている。パフォーマンス・レシオの実績は、JCRの当初想定に近い水準で推移しており、パネルの大幅な劣化等の兆候は確認されていない。

3. 格付評価

発電量の実績およびキャッシュフローの実績はJCRの当初想定対比で遜色ない水準で推移している。バスバー部の焼損が確認されたパネルについて、製品保証が履行されていない点には留意する必要があるが、当該パネルが全体に占める比率はごく僅かであり、当面は購入済みの在庫パネルでの交換対応が可能な規模にとどまっている。また、現在の架台の形状に適合する他メーカーのパネルもAMにより既に特定されているとのことであり、在庫パネルが尽きた後の措置も視野に入れた対応がとられている。スネイルトレイルが発生しているパネルが相応の割合存在するが、現状ではパフォーマンス・レシオはJCRの当初想定に近い水準を維持している。スネイルトレイルが今後の劣化率に悪影響を及ぼす可能性は否定できないが、JCRではパネルの劣化加速について非常に強いストレスをかけてシミュレーションを実施しており、そうした場合においても債務履行の蓋然性が保持されることを確認している。

以上を踏まえ、本信託受益権および信託 ABL の格付を「BBB-」に据え置いた。

（担当）岩崎 智彦・猪又 哲

■ 格付対象

【据置】

対象	発行額/実行額	信託期間満了日	クーポン・タイプ	格付
信託受益権	55億円	2035年5月18日	固定	BBB-
信託 ABL	10億円	2035年5月18日	固定	BBB-

<発行の概要に関する情報>

信託設定日	2018年3月27日
受益権譲渡/ABL 実行日	2018年3月27日
償還/返済方法	スケジュール償還/返済
流動性・信用補完措置	なし ※裏付となる貸付債権における流動性補完・信用補完として、現金準備・優先劣後構造

<ストラクチャー、関係者に関する情報>

委託者	ゴールドマン・サックス証券株式会社
受託者	新生信託銀行株式会社
メガソーラープロジェクト 運営会社	合同会社 MERCHANT ENERGY 第八
アセットマネージャー	ブルー・ブリッジ・パートナーズ株式会社
アレンジャー	ゴールドマン・サックス証券株式会社

<裏付資産に関する情報>

裏付資産の概要	メガソーラープロジェクト運営会社への貸付債権
---------	------------------------

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日 2024年5月30日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典
主任格付アナリスト：岩崎 智彦
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準については、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法(格付方法)の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「プロジェクトファイナンス」(2012年8月28日)の信用格付の方法として掲載している。回収金口座や倒産隔離など他の付随的な論点についても上記のページで格付方法を開示している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 合同会社 MERCHANT ENERGY 第八
(アレンジャー) ゴールドマン・サックス証券株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付対象商品および裏付資産に関する、関係者から入手した証券化関連契約書類
なお、上記については関係者が証券化関連契約書類上で情報の正確性に関する表明保証を行っている。
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、いずれかの格付関係者による表明保証もしくは対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル